

## 石川北

## 都会学生「能登に魅力」

東洋大副学長 輪島で奥能登塾

能登振興を採る「奥能登塾」の第2回講座(北國新聞社後援)は31日、能登空港ターミナルビルで開か

れ、東洋大副学長の高橋一男氏が「地域資源の再評価と地域活性化」をテーマに講演した。東洋大は、学生が能登に滞在して学ぶ「能登ゼミ」を開講しており、高橋氏は「都市部の学生は、能登の自然、文化、心温かい人に価値を見いだしている」と力説した。

能登ゼミは2012年に始まった。延べ270人以上が受講し、高橋氏も毎年能登を訪れている。

高橋氏は能登ゼミがきっかけで能登で学生3人が就職したことを紹介し、「最初は能登に『元気がない高齢者の集まり』という印象を持った学生も、農業体験を通じ、自給自足に近い生活を送るの方が元気で魅力的と思うように変わる」と話した。また、能登活性化に尽力している人材のネットワークがさらに重要になるとの認識を示した。

講演後、約30人の参加者は高橋氏を囲んで意見交換した。第3回講座は9月に予定している。



東洋大の高橋副学長(前列中央)と意見交換する参加者  
能登空港ターミナルビル